

# 楠まちづくり新聞

## 楠小学校区つながる会

### 安全・安心で助け合える地域の絆づくり

#### 北淡震災記念公園で 視察研修の実施

楠小学校区つながる会では、11月28日(土)に阪神・淡路大震災時、地震で現れた野島断層をそのままに保存展示した北淡震災記念公園へ総勢19名で見学に行きました。

阪神淡路大震災はこの野島断層が動いたために起こりました。断層による地面のズレは10kmにわたって現われたとの事でした。断層は近畿地方が一番多く大きなものから小さなもので沢山あるのと、未だ見つかっていない断層も多くあるようです。

三十年以内に南海大地震が来ると云う予測の中で、私たちは平素ほとんど被害がないとあなどる事を止めて、地震に対処してゆかなければならないと痛感いたしました。

昼食後、奇跡の星の植物館を見学いたしました。癒しの空間に感じられたように思います。自然に恵まれた河内長野にもアイデアを出し合い、もっと活性化させる施策が必要だと皆で話し合いながら研修会を終わりました。

研修部会 会長



「北淡 震災記念公園」での集合写真

つながる会  
発行  
会長 玉崎和実  
事務局 白井春夫  
広報部 高石正憲

北淡震災記念公園は兵庫県淡路市小倉1-7-7番地にあります。河内長野市を早朝9時に出発、明石海峡大橋を経由して北淡震災記念公園へ。公園内の「野島断層保存

館」では断層をありのままに保存し、地震の凄まじさと脅威を感じさせ、地震に備える大切さが伝わりました。

その後訪れた、「奇跡の星の植物園」では珍しい植物を単に展示するのではなく、すべての展示が、明確なテーマとメッセージを持っていました。

河内長野市に夕方6時頃に帰り着きました。

## 芝田市長との意見交換 まちかどトーク開催

### 2月12日(金) 19時 松ヶ丘集会所



(検索は) 〒586-0006 松ヶ丘中町1621-15

市長が地域のみなさんのもとにお伺いし、市政への取り組みなどの説明を行った後、ご希望のテーマでみなさんと意見交換を行います。

目的  
市政に対するお互いの理解を深め、今後の市政に反映させるため。

開催内容

1. 市政への取り組み説明 (市長) 30分
2. 質疑応答 30分以内
3. 意見交換 55分

※個別の要望・陳情などをお受けするものではありませんので、ご理解の上ご参加ください。

市役所HPより転載

今回はテーマを「防災」として開催します。

楠小学校区に暮らす人たちの生命や財産がどのようにして災害から守られているか、自分の目と耳で確認する良い機会となります。お誘い合わせてお集まり下さい。

# 地域の活動報告

## 南北貴望ヶ丘 合同防災訓練

11月14日(土)朝までの雨もなんとかあがって予定通り第1回南北貴望ヶ丘合同防災訓練を実施しました。(一部内容変更)  
参加者は、高齢者の方々、子供たち(5名)、他所からの見学者2名合わせて73名。それに市役所担当課2名、消防署3名。



参加者のみなさん

今回のテーマは「南北地区で災害が発生した時、お互い助け合いをどうするか」です。



テンプラ火災の模擬訓練

訓練は2部形式で構成。第1部はグラウンドで全員で消化訓練。水消火器を使ってのあて。全員がそれぞれ交替でやりました。次にテンプラ火災の模擬訓練。

第2部は自治会館内で①応急処置の現地訓練。三角巾以外にネクタイ、買物袋等を使った応急処置を体験。



応急処置の現地訓練

②担架の作製方法と搬出法。毛布以外にトレーナーなども利用しました。



車椅子の移動訓練

③車椅子移動(自治会館前の道路を使用)アイマスク移動。2人1組で行いました。



担架での搬出訓練

訓練最後には全員で防災O×クイズに挑戦して和気藹々の内に終了しました。



アイマスクでの移動訓練

そして、楽しみにしていたバックに入れた炊き込み御飯、缶詰にしたカシパン、参加賞のホイッスル・ライトを土産にもらって解散となりました。

●南北合同であったので日頃馴染の少ない人とも一緒にできてよかった(名札をつけて自己紹介をしました)  
●訓練時間が十分とれていたので全員が実際体験することができた  
●車椅子、アイマスク移動の訓練は初めてなので非常に参考になった  
●初回にしては上出来であった。今後だんだんグレードアップして工夫していくようにすればいい  
地震による倒壊や火災、土砂崩れや道路の決壊などの災害時には、地域の隔たりは関係ありません。地域のみなが互いに協力・連携をとりあっているよう努力した



防災O×クイズ

●訓練当日、グラウンドの状態がよくなかったため土砂を入れていただきました。翌日、手足や腰がパンパンに張ったことと感謝です。

## 人材バンク 設置しました

つながる会では、平成27年度の事業計画の一つとして「人材バンクの設置」を上げています。  
災害時において地域で活躍が期待できる専門的スキルを持った人を事前登録しておく、人材バンクの設置を進めていきます。  
当「人材バンク」は求人・求職のためのものではありません。さらにボランティアの募集や登録でもありません。  
平時には「近くにこんな人が居る」との理解を深めるために活用してください。  
ひとたび、災害が発生した時には、「人材バンク」の情報を思い出して、なりふり構わず「近くに居る人に」真っ先に支援をお願いしてください。  
そのための人材情報を地域にお住まいの皆様のご協力を頂きながら少しずつ蓄積していこうと考えています。

## 第一号 登録

第一号の登録者は「松ヶ丘西町」にお住まいのSさん(女性)です。  
日頃は市役所の「障がい福祉登録制度」に登録され、市が主催する催し物において耳の不自由な方に「手話通訳」としての役割を努めておられます。

身近な催し物としては学校での参観日等にも出向かれて活躍されています。  
この記事が基でSさんと一緒に耳の不自由な人とのコミュニケーションについて考える機会になればと思います。

編集後記  
まちづくり新聞の第八号をお届けします  
メール kusunoki.info@gmail.com  
http://ksrd.jp/kusunoki/ つながる会 検索